

5 計画の進行管理

第4次計画を実効性あるものとして推進するために、計画に基づく施策の進捗状況の把握とともに、各種分野との連携を図り、計画全体の成果を検証することが重要です。

このため、「佐倉市地域福祉計画推進委員会」において、その進捗状況を確認していきます。

成果指標は、個別計画等における取組があることから、第4次計画では、基本目標ごとに、重点的な項目について設定します。

具体的には、基本目標1については、包括的な支援体制の整備について検討中であることから、既存の相談支援体制も含め、市民が、相談したいことがあったときに、相談、支援の環境等があるかという意識を、基本目標2については、個別計画等の取組であることから、その進捗状況などを、基本目標3については、客観的な指標として、地域の社会福祉を目的とする事業の活性化の推進により、地域福祉活動ボランティア人数の増加を、基本目標4については、住民の意識の高さを行動に移してもらうことが重要なことから、第3次計画の成果指標の1つを、それぞれ指標とします（指標以外にも、第3次計画をベースに市民意識調査を実施します）。

また、国の策定ガイドラインにおいて、評価の際には、直接的な成果として得られてきたものやその広がり（影響）にも着目し、そこを伸ばしていくという視点も重要であるとされていることから、例えば、推進委員会において、先進的な取組をしている団体や社会福祉法人などのヒアリングを行うことなど（法に基づく地域協議会としての開催を含む）を検討します。

指 標	区分	現状値	目標値 (令和5年度)	説 明
【基本目標1】 相談、支援の環境等が構築されていると思う・どちらかというと思う意識	新規	39.5% (令和元年度)	45.0%	市民意識調査
【基本目標2】 個別計画等の取組（進捗状況）	継続	※	※	※個別計画等による
【基本目標3】 地域福祉活動ボランティア人数	新規	2,814 人 (平成30年度)	3,000 人	佐倉市ボランティア センター登録人数 ※総合計画前期基本 計画成果指標
【基本目標4】 住民同士の交流やふれあいができていると思う・どちらかというと思う意識	継続	53.5% (令和元年度)	60.0%	市民意識調査

地域福祉

問32. 災害時等に支え合いができるような、住民同士の交流やふれあいが日頃できていると思いますか		
	回答数	構成比
1. 思う	61	14.59%
2. どちらかと思う	168	40.19%
3. あまり思わない	135	32.30%
4. 思わない	40	9.57%
5. 無回答	14	3.35%
総計	418	100.00%

問33. 困りごとがあった時、相談できる場・支援を受ける事ができる環境等が整備されていると思いますか		
	回答数	構成比
1. 思う	27	6.46%
2. どちらかと思う	139	33.25%
3. あまり思わない	194	46.41%
4. 思わない	36	8.61%
5. 無回答	22	5.26%
総計	418	100.00%

問34. 前問に関連して、現在相談や支援が必要な状況にありますか		
	回答数	構成比
1. ある	54	12.92%
2. ない	338	80.86%
3. 無回答	26	6.22%
総計	418	100.00%

問36. 民生委員・児童委員の役割や活動内容を知っていますか		
	回答数	構成比
1. 役割や活動内容を知っていて、相談したことがある	21	5.02%
2. 役割や活動内容は知っているが、相談したことはない	201	48.09%
3. 名称は知っているが、役割や活動内容は知らなかった	141	33.73%
4. 知らなかった	47	11.24%
5. 無回答	8	1.91%
総計	418	100.00%

問37. お住まいの地域を担当する民生委員の名前を知っていますか		
	回答数	構成比
1. 名前を知っている	73	17.46%
2. 担当がいることは知っているが、名前は知らなかった	166	39.71%
3. 担当がいることを知らないし、名前も知らなかった	170	40.67%
4. 無回答	9	2.15%
総計	418	100.00%

問38. 成年後見制度について知っていますか		
	回答数	構成比
1. 知っている	89	21.29%
2. 少しは知っている	132	31.58%
3. ほとんど知らない	101	24.16%
4. 知らない	88	21.05%
5. 無回答	8	1.91%
総計	418	100.00%

問39. 成年後見制度を利用するための手続きや請求先を知っていますか		
	回答数	構成比
1. 知っている	22	5.26%
2. 少しは知っている	49	11.72%
3. ほとんど知らない	149	35.65%
4. 知らない	191	45.69%
5. 無回答	7	1.67%
総計	418	100.00%

問40. 市内の成年後見制度に関する相談窓口である、成年後見支援センターを知っていますか		
	回答数	構成比
1. 知っている	32	7.66%
2. 知らない	378	90.43%
3. 無回答	8	1.91%
総計	418	100.00%

地域コミュニティ

問41. 次の活動に参加したことがありますか:「自治会・ボランティア団体が行う活動」や、「NPO・企業等が取り組むまちづくり活動」		
	回答数	構成比
1. 積極的に参加している	19	4.55%
2. ときどき参加している	64	15.31%
3. 参加したことはあるが、今はしていない	93	22.25%
4. 参加したことはない	234	55.98%
5. 無回答	8	1.91%
総計	418	100.00%

問42. 「地域まちづくり事業」を知っていますか		
	回答数	構成比
1. 地域まちづくり事業を知っており、活動やイベントに参加したことがある	27	6.46%
2. 参加したことはないが、地域まちづくり事業の内容は知っている	31	7.42%
3. 地域まちづくり事業の制度を聞いたことはある	140	33.49%
4. まったく知らなかった	202	48.33%
5. 無回答	18	4.31%
総計	418	100.00%

地域福祉

問35 相談・支援の環境等についてご意見等がございましたら、自由にお書きください【自由記述】
水害が発生した時の避難場所が遠い！足が悪い為。 有料な支援が多いと結局は大変になる。 相談したい方の身になって、心から相談に応じてくれるのか？ フードバンクという組織がありますが、扱う食品にも少しいろいろあってより多くの人が利用できる仕組みがあれば、物価高低賃金のこのご時世にはよいと思います。 老人宅が増加していますが、各包括支援の為に相談を家庭に積極訪問して相談して下さる事が大事な事と思います。 市役所など、随時相談できる体制があるとよい。 安心安全な暮らしの保障 相談と言っても解決につながらないのがもんだいだと思う。 現在、98才になる母がこれからどんな施設を探したらいいかわからない。今は高い料金の施設に入っている。 年金生活者として老々介護は辛いです。最近の状況を見ていると介護保険、健康保険等の値上がりしが叫ばれているようです。物価高の中、自己責任ばかりでは辛いと思います。 住宅地の(警察)パトロール強化 住宅地音横断歩道のパトロール強化→歩行者の横断が危険。 福祉センターに家族(高齢)が本当に困り連絡した際に真摯な対応がなかった。システムとしていろいろな説明を受けたことがあるが、その時起きていることに対し、助言や励ましがなくて「支援」などシステムがあるだけで実態はない。信用していない。 以前相談に行つたことがありますが、事務的でした。何をすべきかわからなかった。あとではもつと「ある場所」を省かざるようにはしたい。身近に感じられない。 体が動かなくなったり、歩けなくなった時の老人ホームの見分け方、料金とか「かいご」の問題等。 頭がしっかりしているいま、いろいろなことを聞いておきたいと思っています。 手続きの複雑さを感じる。特に弱者に対する手続きを簡単にすべきだと思う。何度も役所に足を運ばなくても良いようにしてほしいと思う。 もう少し相談機関の窓口を市役所等だけでなくオープンにしてくれたら必要な人に届きやすいのではと思います。 介護で相談しました 子供と一緒に住まなくなった時、1人の老後生活に不安がある。貯金が充分にある訳でもないため、自分がいつまで働けるか不安。その時に頼れる所があるのか…公的な所で。 休日の病気や病院など、対応してくれる場所が増えたらいいと思う。コロナも佐倉市はみてる病院が他の市に対して少ないと思う。 私が国の指定難病の持病があり、災害時のことを相談しようと当該課(市役所)に伺いましたが、持っている方も居るし、そもそも窓口となる方がすぐ来てくれませんでした。結果あきらめました。課の窓口？もわかりづらいので受付となる所がわかりやすい事を希望します。 各相談機関がある事があまり周知されていないのでは？ ◎佐倉街道県道64号線立正校成会前の向かい側(反対側)竹林埋め立ての歩道の拡幅を早急に措置すべき！極めて危険な状況。佐倉中の学生等が自転車で利用出来ない。佐倉のイメージ・印象が極めてひとつ悪い！ 子どもを遊ばせられる支援センターは、他の市より多く充実しているとは思いますが、夏休み中、学童や、小学生の利用などがあり、いつものように遊ばせられないセンターが多いです。暑くて公園に連れていくこともできないので、困っています。井野近くに、公園が少なく歩道も狭く、子育て中だとベビーカーなど使いたいの、歩道が狭くて使えません。特に志津中の校庭裏の道！小さい子どもが増えているのでなんとかしてほしい。危ない。←書くところが違うかも…すみません。 夜間の小児救急の時間を元にもどしてほしい 地域に引きこもりの人も多く、ますます高齢化も進み不安を感じさせられることもあります。ネコの死体の事件や2016年の教会たてこもり事件などのようなことが起きないようにひきこもり対策が重要な課題であると思います。 美しい庭のあるギャラリーにカフェを併設し、作家と市民が交流できる場所にしたい。素晴らしいアイデアです。その女性は市に相談に行きました。しかし窓口の担当者は「そこは市街化調整区域なのでダメですね。」、と言っただけで特に何もしてくれませんでした。ふるさと公園にギャラリーの個展のハガキを置かせてくれないうちでお願いに行ったら、「そういうのはお断りすることになっています」と言われたそうです。彼女の取り組みは何か市の環境を悪くするのでしょうか？打開策を見つけるために考えるのが市の役割では？いざこざに巻き込まれたくない、市の職員のそんな消極的な姿勢が市の発展を妨げているのではないかと、感じざるを得ません。佐倉市は文化や芸術の街なのでは？強く疑問に感じました。 病後児保育の保育園のわくを増やしてほしい シルバー人材センター以外の高齢者に対する就労支援 70歳になってもまだ元気であり意欲もある人が多い。経済的に働かなくてはならない人も多い。 どのようなことをしているのか知らない 包括支援センターという名称がわかりにくい。どういった内容かわからない。高齢者相談所など、誰が利用できるのかわかりやすい名称にしてほしい ライフステージごとに相談したい内容が変わりますが、私の場合はその度に積極的に情報収集をし、佐倉市の機関等で解決できたことが多くあります。ですが、抱えている相談事が佐倉市で相談できる内容かどうかを、まず初めに思い浮かべることが少ない方々が多くいらっしゃると思います。最近の佐倉市のホームページ・LINEは情報がわかりやすく整理されているので、触れる機会があれば有効に活用できるものです。普段触れることの少ない方々にも、是非積極的にPRすることを継続していただくと良いのではないかと思います。 現在、自分にとって支援等が必要な状況でないため、実際に支援を必要となった場合の実態環境が分かりません。また、自身が住んでいる集合住宅内にボランティアの方々が居ることも知っていて実際の活動状況も把握できていません。よって、実態がよく分からないと言った感想です。 どのような相談・支援する場所があり、また、具体的にどのような取り組みを行っているのかを広報誌やホームページなどに載せた方がよいと思います。また、既に記載している場合は、認知度がかなり低いと思いますので、認知度向上に努めてもらいたいと思います。現状は、問34に記載されている期間は初めて聞いた機関ばかりです。また、取り組みも良くわかりません。 今後、益々、支え合いのコミュニティが重要になるので、地域課題を「自分ごと」として捉え(認識し)、「コミュニティの醸成・ほど良いお節介・周囲に関心を持つ」ような関係性の構築を、市の方からも積極的に、地域に寄り添って推進してほしい。地域にいと「市の顔」「市の思い」「市の息遣い」が見えない・感じられない。この点は、是非ともお願いしたいことです。 このような意見を聞く場はあるようにしているようだが、実際には親身になって聞いてくれないことが多かった。 親の高齢化になり、どのような支援等が受けられるのかを、詳しく知りたい。片親(父親)でも年取がある程度ある為に支援が受けられないことが多すぎる。実際は子供3人いて、かなりお金がかかり厳しい環境です。色々スピード重視して決めて下さい。 本当に必要な人に迅速な対応をしている印象がない。煩雑な手続きを市民におわせるわりには、在留外国人には簡素な手続きで終えている印象。支援するつもりがハナから無いような印象しか見受けられない。その為、頼ったところで門前払いをされるのが目に見えている。受け皿が広く無いのに、広告ばかりにお金をかけているようだと思う。



佐倉市ボランティアセンターの概況について令和6年4月18日（配布）

(1) ボランティアセンターへの登録団体・人員の概況

	ボランティア 登録団体数	ボランティア 登録人数（団体）	ボランティア 登録人数（個人）
令和5年度	106団体	2,571名	163名
令和6年度	100団体	名	名

※ボランティア登録更新手続き期間中のため、追って報告をします。

(2) 福祉教育関係

＜福祉教育・福祉体験関係＞

＊ 4/23（火）第1回福祉教育推進員養成研修（ファーストステップ）

（福祉教育パッケージ指定関係）

- ・千葉県社協から次年度で佐倉市の取り組みとして、県立佐倉西高校にパッケージ指定1年目の取り組みについて発表することになりました。

＊5/31（金）に佐倉市内の福祉教育パッケージ指定団体どうしの連絡会議を開催予定です。

(3) ボランティア講座関係

- ・3/30（土）に「傾聴」の基本を学ぶことを目的としたボランティア講座を開催しました。当日は15名の方の参加がありました。
- ・令和6年度も「傾聴」に関する講座は必要性があるため、ボランティアグループ「心のふれあいボランティア「ひびき」」とも連携し講座開催を進める予定です。
- ・ボランティアの担い手づくりとして、夏休み期間に講座の企画やさくらあったか食堂ネットワークとコラボした担い手づくりの実施に向けて調整を進めて行きます。

(4) 会議関係

＊ボランティアセンター運営委員会 関係

- ・委員会委員の推薦依頼を行い、現在取りまとめ中です。
- ・任期は令和6年4月～令和8年3月末となります。
- ・第1回運営委員会は5月～6月頃に開催を予定しています。

＊ 3 ボランティアセンター会議

- ・ 4/10（水）に今年度第1回の3センター会議を開催しました。
- ・ 主な協議題は、ボランティア講座の方向性、ボランティアセンター運営委員会における会議内容の方向性のすり合わせなどについて、Zoom 会議を実施しました。
- ・ ボランティアグループからボランティア活動と一緒にする仲間のなかで、「認知症」症状が見られる方があり、仲間としてどう受け止めていくと良いかの相談が寄せられています。

現在ボランティア活動をする方を包摂するためにボラセン登録グループ間の懇談会開催など、今後3センターで検討する予定です。

(5) ボランティア活動助成金の募集関係

- ・ 令和6年度ボランティア活動助成金の募集を6月実施に向けて、準備を進めて行く予定です。

(6) ボランティア・地域福祉活動に関する講師派遣依頼

- ・ 高齢者福祉課より昨年度に引き続き 5/24(金)「介護予防リーダー」養成研修の第3日目に「佐倉市のボランティア活動について」をテーマに講師派遣依頼を受けています。
- ・ 中央公民館より昨年に引き続き 6/26（水）「佐倉市民カレッジ」1年次生を対象に「佐倉市の地域福祉」をテーマに講師派遣を受けています。

(7) 佐倉市ボランティア連絡協議会関係

- ・ 令和6年度第1回運営委員会を 5/11（土）に志津コミュニティセンター大会議で開催予定です。
- ・ 令和5年度事業報告、決算報告、令和6年度事業計画（案）・予算（案）など、総会的な内容と後半は手話講座を開催する予定です。

第4次地域福祉計画の基本目標と成果指標、実績値

										(参考)
	基本目標	指標	H30	R元	R2	R3	R4	R5	目標値	R6速報値
1	各福祉分野の取組を進め、連携を強化します	相談・支援の環境等が構築されていると思う・どちらかというと思う意識		39.5%	44.7%	38.9%	40.6%	39.7%	45.0%	42.51%
2	福祉サービスの利用を促進します	個別計画の取組(進捗状況)※								
3	地域の社会福祉を目的とする事業の活性化を推進します	地域福祉活動ボランティア人数	2,814人	2,681人	2,443人	2,695人	2,835人	2,734人	3,000人	
4	住民参加をさらに促進し、充実します	住民同士の交流やふれあいができていると思う・どちらかというと思う意識		53.5%	55.4%	46.1%	52.2%	54.7%	60.0%	57.89%